夕刊
常磐新聞
六月五日
發行兼編輯人 伊藤隆次
印刷人
發行所 福島縣小名濱町古港一 常磐新聞社
日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ヶ月五十錢
廣告料 一行 五十錢

常磐時評

德な性格と損な性格

正直にすれば結局德な事だ小さな嘘を吐く事は大局的に非常に損な事だとは何人も承知しながら嘘をつかなければ氣が濟まないのも性格であり、嘘をつけば目前に大金儲けがあつてもウソをつけないのも一ツの性格である、結論的に見て小利巧は金儲が上手だが、いつでも小を脱却する事が出來ず水平線を往來して居る正直な癖ある者は一寸馬鹿らしく見へてもスグ〳〵と地位を築き上げて行く、ウソを吐けば惡ひ、とは何人も知り出世のさまたげになると知りつゝもウソをつき自殺的深淵に溺れる、こう云ふ事實は余りに世に多い、恰度一定の場所に行くにトンネルを行けば近道だ然し列車が折惡しく通れば命懸である少しの時間を惜む爲に近道して自殺を計る如くこの筆法は決して賢明なる行爲ではない、遠道をしても一歩〳〵と踏しめて安全地帶を通れば命懸けの藝當をせずとも安全に彼岸に達する、然し惠まれたる性格者は勞せずして大きな恩澤に浴する事が出來る、故に氣の毎なる性格の所有者は克己的訓練を常に心掛け性格の改造に努力すべきである。

又容貌もその通りである、一見したのみで惡印象を殘す人と好感を與へる人とある、勞しないで好感を與へる人は汝を玉にするものである。

湯本町政改革運動陣營に內紛起る

大井川氏除名處分

內容一新運動强化へ!!

會田氏委員長に推擧さる

★★★

萩原義雄氏の演說に端を發動を續行する事は失敗の過程を時間と物質を費消して湯問題は、その後大井川正巳氏を委員長として反復湯川氏の指導方針では一所に足踏してゐるばかりで目的は何處まで續く事であらうか？湯本町よ何處へ行く

萩原義雄氏の演說に端を發動を續行する事は失敗の過程を時間と物質を費消して湯問題は、その後大井川正巳氏を委員長として反復湯川氏の指導方針では一所に足踏してゐるばかりで目的は何處まで續く事であらうか？湯本町よ何處へ行く

早める事になり其の上大井川氏は猪突主義的運動をなすであらうが比佐昌平氏の或る種の行動と相まつて今後の湯本町紛爭は何處まで續く事であらうか？湯本町よ何處へ行く

畢業を表面の旗印に全般的水平線を往來して居る正直な癖ある者は一寸馬鹿らしく見へてもスグ〳〵と地位を築き上げて行く、ウソを吐けば惡ひ、とは何人も知り出世のさまたげになると知りつゝもウソをつき自殺的深淵に溺れる、こう云ふ事實は余りに世に多い、恰度一定の場所に行くにトンネルを行けば近道だ然し列車が折惡しく通れば命懸である少しの時間を惜む爲に近道して自殺を計る如くこの筆法は決して賢明なる行爲ではない、遠道をしても一歩〳〵と踏しめて安全地帶を通れば命懸けの藝當をせずとも安全に彼岸に達する、然し惠まれたる性格者は勞せずして大きな恩澤に浴する事が出來る、故に氣の毎なる性格の所有者は克己的訓練を常に心掛け性格の改造に努力すべきである。

又容貌もその通りである、一見したのみで惡印象を殘す人と好感を與へる人とある、勞しないで好感を與へる人は汝を玉にするものである。

躍進の小名濱町議員定數增加を

來る十日の町會で協議

築港工事の進涉により躍進の結果、歸鄉が延期となつまた躍進を續ける小名濱町は昨年十月一日の國勢調査の結果一躍一萬一千九百余名に增加し昭和八年の町會議員選擧當時より一躍二千名の人口增加となり議員定數も現在十八名より廿四名まで六名以內の增員を認められるに至り過般縣當局より同町へ照會あつた爲町では來る十日の町會に諮り回答する事となつたが大体に於て一萬を突破したと云つても二千名台今一期位は會議室の狹隘もある故廿名定員とすべしの意見が有力である

比佐代議士慰勞歡迎會

八日に延期

三日歸鄉の筈の比佐昌平氏は中央に於ける政務多忙

錦村隔離病舍をめぐり當局と部落對立

五百圓の土地賣收は不當

當局緩和策に大童

昭和人絹錦工場に早春以來赤痢一、チブス一が發生したに拘らず同村には隔離病舍が無い爲め各々自宅にて治療中であるが此れが隔離病舍建設をめぐつて役場當局と部落民が正面衝突を敢行するのではないかとの機運に立至つて來た

此は昭和九年十月同工場設置と選定したが何れも反對當と共に今までの病舍敗地され仕方なく極秘に大字河を賣却した爲め今日まで再原鮫川沼岸に建設すべく二建されずに居たのをこれが百圓內外の土地を五百圓で部落民が賣收決定したのを部落民が

東部大同の合同

大日本電力

平四倉も改名

本縣及茨城縣を中心として電氣界の雄として自他共に許してゐた東部電力株式會社と六月一日を以て合同し名儀を『大日本電力株式會社』と改名新たに出發したこれによつて東電平營業所及四倉變電所も大日本電力株式會社營業所と改名された

平町愛婦會

愛國婦人會平町分會幹事會は今五日午後四時半から平町會議室に開き來る十四日の第一回役員總會に關し協議した。

海へ！山へ！

勿來磯原間——ハイキングコース

宣傳協議會磯原に開催

常磐觀光協會主催で

關係者を網羅して決定を見る

出掛けませうリユックも重く大氣の中へ

初夏は大氣の中へ!!リユックを背に海へ!!山へ!!

八幡太郎で名高い名所勿來の關を基點に茨城縣平潟大津を經て磯原町に至るハイキングコース宣傳の爲め先年結成された常磐觀光協會では昨四日磯原町磯子館に赤津勿來町長初め鷹岡、豊田、磯原の各町村長と正村勿來、佃關本、來栖磯原の三驛長並に水戸運輸事務所旅客課大內豊記氏更に關係旅館、溫泉主人多數會同宣傳協議會を開いた結果宣傳方法としてポスター一千枚を至急製作常磐、兩毛、磐越東線、水郡線の各驛に配附これが宣傳に萬全を期し努力する樣決定した、

行こよハイクへスクラ組んで!!

知り過般村民大會を開き建設反對の決議をなして氣勢をあげ當局に大擧陳情請願をなした外同部落選出村議を歷訪反對運動を懇願した

優良納稅表彰

神谷村では四日午前九時から小學校で村、縣、國稅の優良納稅者表彰式を高屋平稅務署長臨席の下に擧行した。

元石城支部に嵐

斷壓下に再建を起企

邪教殘黨掃滅

平署特高課乘り出し

關係者十數名召喚

昨報結社耕散と家屋取壞は長中村佐次助妻あい(五二)小しを命ぜられた邪教大本教名濱町小野貞次郎(四四)內郷は司直の斷壓下にあつても村橋本富藏(四五)外五名を引尙所々に再建を起企して潛平町堤の內食肉商大塚武夫行運動を續けて居るに鑑み致嚴重取調べを開始したが邪教信者の殘黨撲滅に乘り此は同教解散以前に於ける出した平署特高課では四日方に至り『自分の附近の者平町四丁目元同教石城支部になつて邪教を信じきつて布教狀況と信仰程度並に今を爲め轉宗させる訓辭をる農馬を言葉巧みに借り受けた

あたいるに有る樣だが解散後福島方面に於ける不穩計畫に基く參考訊問に依るものと見られて居り留置取調中である

貧馬を種に代金詐欺

生ヅルイ爺

磐崎村大字藤原字手這齊藤末造(五七)は三月二十二日頃

馬庭技手檢査

縣衛生技手馬庭行安氏は昨四日來小江名小名濱町附近の清涼飲料水業者の檢査を行つた

上貧馬を田人附近の農家へ四日平署員に檢擧され取調塚方に金を返さない事發覺られてゐる

帝國の生命線南海時局大講演會

四倉役場主催で六日開く

四倉町に於ては帝國の生命線南洋の現狀と海軍普及徹底の意味に依り明六日午後七時より約二時間半四倉座で同町役場、郷軍、消防組青年團、國防婦人會、雞鳴會主催のもとに海軍部內の明星として重きをなす武富將軍を招聘して『南方の重大性と帝國海軍』の題下に時局大講演會を開催する爲め一般町民の來聽を望んでゐる、聽講は無料。

押し寄せた潮干狩客

小名濱海岸賑ふ

曆より一足た先に來た梅雨に明日の空模樣では當今降り續くかと思はしめたが見事豫想を裏切つてハツキリと紺青の空に初夏の陽光が明るく、室內溫度も七十八度までグン〳〵立昇り、いよ〳〵カン〳〵帽の季節となつたが今五日は陰曆十六日で小名濱海岸は約二三丁程潛を露し海水浴場附近は田村郡三春小學校生徒の修學旅行や遠近からの汐干狩りの人々で賑つた。

街の噂

高い米を食はせらるゝ結果を見て

兩三日來の東京米穀取引所の價格は昭和三年來の高價となり、其が標準となつて毎日連日米の小賣が騰貴してゐる。米のことゝ云ふと萬人口をカンして語らぬ新聞にも出ぬが昨今の親子心中も、老人の自殺も食ふものが食へぬからだと云ふことに氣が付かぬのか。

庶務一新と云ひ、政黨は翼黨維新といひ、軍部は肅軍國防と叫ばれてゐるが仕事のない失業者が食ふに食へぬ時代に、連日の米價暴騰に何の施設も加へぬ如きは元來人民のための政府といふ事に氣附かれざる結果とより外考へられぬ。米價調節なるものは高價、低價共に調節する事が條件にて農林省に巨額の資金融通權が與へてあるのだ。每時云ふことなれ共爲政者は國民に先んじて憂ひ、後れて樂しむの義務と聰明さとを持たずしては、昨今の冷氣に乘じて相場社界の買アホリに一任してゐる如きは誠に不可解とする所なり。

濱だより

六月四日

小名濱魚市場調査

魚名	漁獲高	單價
目	八貫	二、一〇—二、三〇
メゾキ	一〇貫	二、一〇—二、二〇
タヒ	五貫	三、八〇
小タラ	二〇〇貫	一、一〇—一、二〇
サバ	一五ケ	一、〇〇
イワシ	一五ケ	二、〇〇

◇天氣豫報◇

今晩 北西ノ風晴

明日 南ノ風晴夕立模樣

氣壓＝七百五十二粍二

油繪肖像畫の話〔7〕

齋藤利彦

大家に依頼なさる場合は別意義深く、又作品としての故人の肖像で寫眞のみに結果もよい。

しか據れない場合は、完成前に遺族打ち寄つて一應下見をする事が必要で、御不滿のまゝお受收り遊ばす事はどうかと思ふです。若し製作者が、下見回避や無理押しつけをした場合は肖像畫としての神聖を害するインチキものだ。

肖像畫は大体御夫婦お揃ひで同時に製作させるのがいやしくも肖像畫が末代までの家の寶である以上に畫家の選定に充分意をひられたい、外交員の口車にウカ〳〵乘つて似もしない低俗なインチキ肖像畫を握らせられたら、それこそ末代までの恥とすべし、處が良心的な畫家であればあん程依頼の肖像畫には容易に手は染めない、何故なら風景や靜物と違つて依頼者の注文も入れなければならないからだ、肖像畫の製作はそれ程畫家の自由な製作慾を束縛する（そこに當然、手頃な報酬で氣樂に依頼を引受ける專門の油繪肖像畫家が生れる。

依頼する方の最も重大問題は、その報酬の點である報酬は勿論、その材料費を含むものではあるが、至當であるかないかは一つにその作品の眞價如何にかかつてゐるが深さのあるものを測るには自ら深さを測る心構えが必要といふものだ心の作を生む（終）

特報

出漁鰹漁船無電放送漁況

本縣船沖合漁況（四日）

船名 漁場 水溫 漁獲物 記事

縣下船漁獲なし

沖合一般況漁

最多獲船 最小獲船

福住丸 小笠原附近 三度五分 一萬尾

福島丸 クワセ島 一九度 千三百尾

社告

平支局詰 木戸田廣壽

右ハ神出鬼沒ノ狀態デ社務ニ服セズ依テ退社セシム以後本社ト何等關係ナシ。

右社告ス

六月一日

日刊 常磐新聞社

開店御披露

每度御引立を蒙つて居ります

平町 末廣の支店 を開設いたしました所は……公園の閑雅な高臺味は……江戸一流料理人の腕の冴え皆樣の御出でをお待して居ります

小名濱公園地內

江戸前 鳥料理 はまや

モシモシ 電話百二十番

曳前のお知らせ

家屋其他動產の移動少しの損傷もさせないで曳前の御依頼に應じます

御希望の方は一應御相談下さい

小名濱町桑町（築港地內）

三崎組 北村芳藏

內臟外科 一般外科 レントゲン科

北川外科

平町新川町（諸橋醫院跡）

醫學博士 北川芳夫

（血液檢査每日） 小林良次

イツデモ入院デキマス

電話四六四番

論叢

溫泉復活事業と——町紛爭の實体（十二）

小野英哲

最後に町民として役場理事者並びに石城民政部會の一部幹部の方々に一言呈して筆を止めよう。

復湯事業をどや角ご心配にあづかる事は、町民として甚だ結構な事であるが、第三者は三者の立場から湯本區制の發祥並びに溫泉枯湯の歴史、其の後に於ける湯本町經濟政策の現象、將來に於ける湯本氏政の大策等の見地から、政治家は政治家らしく政治理論で復湯事業の贊否を云々して貰へたへのである。いたづらに個人感情を發露して、石川町長が、石川町長がと、ガンバリズムを發揮されては迷惑至極は町民ばかりである。以後完全に手を引いてもらへたいのである、かくする事によつて介入した第三者の將來性にシビも入らずに濟む事であらう。

又役場當局に於いても町區三十頭足並揃へて、湯本自自治体の將來に向つて協力し、發展向上を策して戴きたいのである。

老子の言葉にも、大道滅して仁義現はると、謂ふ事がある。

湯本自治政治の見地から政黨を論ずる心要が少しも無いのである。自治体とは所謂自ら治むるを本義として組織されてるのである、其の間國會の如く政黨人の横車と無責任な行動は出來得ないのであり、役場の失態は自治議員全部の失態と成る、連帶責任性のある事をヨモヤ忘れずに奮闘して欲しいのである。

湯本自治の大道から論れば、各議員の一通りは聞へるであらう理屈も議論も、それは單に仁義である。單なる仁義論に提はれ内部抗力して欲しいのである。

比佐昌平氏の今回の態度は湯本自治民であり、且つ代議士と云ふ立場から極め て自重的態度を採つたのであるが、世上デマの如く決して反對論者では無いのである。經濟政策としての復湯事業を政治家らしく自重的態度を採つたに過ぎないのである速かに代議士の態度の決定せん事を願ふものである。併して何等かの形に平和になる事を希望する者である。終に臨ぞんで小松章縣議並に鶯清昇氏の御兩人の今回の意見と態度について町民として深く敬意を表する次第である。（終）

五、二四

小說

中篇小說

第二の抱擁（3）

横山しの夫

相寄る魂

道惠はよく死んだ弟の事を思ひ出しては、姉思ひの優しい弟だつた。といつたみ續けて來た——道惠の心私にはもう男の兄弟は一人もないのだから、重夫さんは眞面目になつて、私のほんは云つてゐた。

若し姉さんが、田村と離別したなら、きつと俺が姉さんを引取つて幸福にしてあげるよ、と云つて道惠を喜ばせてゐた重夫だつた

その二人が、惡戯な運命の魔手に引摺られて、姉弟の、清い一線を飛び越えて肉体の關係を許し合つて了つた。——

社會の、冷たい色眼鏡と田村の馬鹿氣た猜疑心のために、散々虐め拔かれた二人が、却つて意地とお互ひの同情を增させて、のつぴきならぬ今の立場にまで陷つてしまつたのだ。

罪は寧ろ彼等に有ると辯解する反面に、卑怯な解釋をして自己の罪を幾分でも減じようとする、醜い態度を追及する、強い良心の閃きを感ぜぬ譯にはゆかなかつた。呪はれたあの夜以來重男は一秒の隙もなく、惱としても重夫に身を献げてしまつた以上、たとへ價値のない夫とは云へ、田村の許に留まつてゐる事は身を切られるより苦しい思ひだつた。

幾年かの間、小さな胸一つに秘めて來た覺悟が、重夫との經緯に依つて初めて現はれた。道惠は遂に家出した。——

それは余りに突然であつた、恐らくは道惠自身すらこう迄あわたゞしく實現しようとは豫期してゐなかつたであらう。勿論重夫には何の前置もなかつたし、彼女が家出した朝、出勤しても夕方まで全然この事に付ては知らなかつた。

歸宅してから、彼女からの手紙に依つて、はじめて知つた、疑惑は當然重夫の上に蔽ひかぶさつて來た。

疑惑ではない、事實であることの心苦しさに、彼は今更の如くあの夜の出來事かまざ〳〵と腦裡に描かれて行つた。如何なる煩悶と既に犯した罪に對しては無駄であつた。彼は半ば自棄的な感情に支配されて、混亂と——錯綜の渦中に引入れられていつた。——

亂れ飛ぶ

太與は

投稿歓迎

△小名濱町のお座敷で物凄く流行してる『小名濱さのさ』一節を左に、ノド自慢のお方は近く開かれるコンクールに出席あれ

〈他所に較べてネエ
他所に較べて
賣値も良くて
トサアッサア

詩吟

鳴渡るサイレン五十の心
躍る。損も儲も一大勝負
町營市場のね腕の冴
ほんにまた
そうではないかいな
サアノサッサア

〈開虎山からネエ
開虎山から撞く時の鐘
トサアッサア

詩吟

昔想期灰燼御陳屋跡
槃興海風俗感一莊嚴
知らず登ればネエ富ケ浦
松の根方で語る戀
サノサッサッサ

（勝太郎）

▼綠蔭の丹後澤はアベック〟に限るそうです、十六日の公休には是非お供させて頂きたいデス、カフエー大學の○子さん——（カレッチボーイ

▼純文藝映畫『人生劇場』小杉勇粉する青成瓢吉に容貌性格共に瓜二つの男が平町に一人居る、心あたりの方は手を擧て（内田カントク）

▼僕等若人には綠色に金コーモリの小箱は戀人よりなつかしいです、ところが十日頃前より僕の町からスッカリ姿を消してるのですが專賣局長殿よ一日も早く配給下さるやう、ッヽしんで陳情致します（七錢きり持たない江名の漁夫）

紅燈便り

カフエーの卷

將來大擴張の小名濱町〟夜の情緒を深案して〟その異敬なる發展振に恐驚の外はない

〟泣けよ彼女よ紅灯の巷に〟筆者はこゝに小名濱女人有情記を諸君に提して他に見られぬ噂の逆説をこゝろ見たい、はや梅雨に近い一日正午上野驛から車中の人となつた午後五時半あこがれの小名濱に着いた、友人の案内で築港沿岸を見物

丁度遙々と戀人を尋ねて文那から遠々日本に渡つて來た若い娘が無情の男の心變りをなげく涙の様なあの長たらしい憂鬱な雨の中をやうやく尋ねあてた處は銀座のネオン街の軒並みを思はしめる辨天横丁カフエー安兵衛女給はしつくりと合ふ洋裝の直美、洋子、マリ子、忍美子の洗練された粒揃へ、國はどこですかお前は石童丸の文句ではないが粹人に似合はしからぬ駄話をはなつて筆者自身冷やとした（此の項續く）

原稿募集

俳句、短歌、童謡
詩、コント、隨筆
小說、紀行文

右の原稿を募集します
題は隨意ですが創作に限り飜譯は採りません
但し紙上匿名は自由なれ共原稿の終りに住所氏名を明記すること、無名原稿は掲載致しません
種類を冠頭に朱記する事

選者　編輯局選

水産試驗場製鑛詰
鰹鹽辛、鯛味噌
名所繪葉書
小名濱みやげ
文屋百貨店
小名濱町古港入口

マルトモ書店　電話二三四番
マルトモ運動具店　電話一二四番
マルトモ食堂　電話一二三番
すが〳〵しい新春の山野
明朗な初夏の太陽！
清新滿ちる『みのり』
共に皆様のお心を和らげます
カフエー　みのり

看護婦派出婦のお需めに應じます
平看護婦會
電話三〇七番

◉和洋食堂　出前迅速
安くてうまい……季節たべ物
◉各國洋酒類!!!　金拾錢均一
◉是非一度御試し下さい
滿洲バー
湯本町東町

サービス嬢の……粧いも初夏の味……
一足先きに初夏氣分に浸るには——
櫻花とは趣きを替いた牡丹の味——
カフエー　ホーライ
小名濱町

株式會社　湯本無盡
融資——貯蓄
電話四七番

醬油釀造家の革命的一大福音
合理的經濟的アミノ酸製造原料
『アルソ撒豆粕』
滿洲大豆製造株式會社特約代理店
日本食料工業株式會社
小名濱出張所
委細は同出張所へ御訪合せ願ひたし

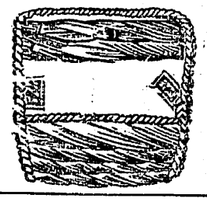
特價提供！
時計。眼鏡。萬年筆
修繕確實　丁寧本位！
貴金屬類は是非!!!
小名濱町本町
松原時計店

▼移轉御披露▲
人物風景御寫眞
鈴木寫眞館
新　小名濱町中島郵便局東隣
舊　小名濱町中島通り

耳鼻咽喉科專門
高柳耳鼻咽喉科醫院
院長　醫學博士　高柳博明
入院應需　平町驛前【電話三三六番】

削魚節製造元
卸賣　馬上與八商店
小名濱町小學校前

銘酒は……
清世界
發賣元　清水屋本店
小名濱町電話六番



廣告の御用命は廣範圍に配布する常磐新聞へ

新裝なつた殿堂
カフエー浮世　小名濱町　辨天橋町
整つたサービス嬢の陣容
開店披露
大、小、自動車修繕一般
迅速、叮嚀、
廉價、親切、
赤津自動車修繕工場
小名濱町中丁南裏通り

春綠の期格別御後援の榮を賜り度！
親切と勉強をモットーとして奉仕
旅人宿　簡易食堂　御料理　待合
江名町南町
小西屋支店
店主　佐川國三郎

きゝめでうれる病藥
妙淋丹　十日分三圓
販賣元　小名濱中島通り　電話番
シライシヤクホ

春の整裝に是非!!!
●洋服　●洋品　●化粧品　●子供洋服
◎確實なる品と底廉本位
金成屋

外科專門・レントゲン科
上田外科醫院
病室の設備有り入院應需　平町南町

船陸機關製作修繕
丸八鐵工場
小名濱町築港入口
電話一七五番

產婦人科專門
井坂醫院
平町田町　電話五五九番

口腔外科齒科一般
池部齒科醫院
江名町

諸機械並一般鑄物
タービンポンプ
山田鐵工所
平町七丁目
山田親敬
電話七十二番